

2015 年度研究大会パネル公募の審査結果について

2015 年 5 月 28 日
国際法学会研究企画委員会

2015 年度研究大会のパネル公募にご応募いただきありがとうございました。

研究企画委員会における厳正な審査の結果、設置をお願いすることになったパネルは、以下の通りです。

分科会Aは、9月20日(日)午前の部(9時30分～12時45分)、分科会Bは同日午後の部(14時15分～17時30分)での報告となります。

分科会A (パネル公募)

「抵触法における準拠法選択アプローチと外国国家行為承認アプローチとの交錯」

企画責任者兼座長 名古屋大学教授 横溝 大

1 準拠法選択アプローチと外国国家行為承認アプローチとの関係—総論

名古屋大学教授 横溝 大

2 身分関係分野における準拠法選択アプローチと外国国家行為承認アプローチとの交錯

名古屋大学博士課程 加藤 紫帆

3 財産関係分野における準拠法選択アプローチと外国国家行為承認アプローチとの交錯

上智大学教授 森下 哲朗

4 準拠法選択アプローチと外国国家行為承認アプローチとの関係—展望

学習院大学教授 神前 禎

分科会B (パネル公募)

「サイバー空間と国際法」

企画責任者兼座長 京都産業大学教授 岩本 誠吾

1 作戦領域としての宇宙空間とサイバー空間に関する国際法上の問題点

慶應義塾大学教授 青木 節子

2 外交から見たサイバー活動の評価

情報セキュリティ大学博士課程 村上 啓

3 サイバー活動の国際法上の評価—jus in bello の観点から

京都大学・日本学術振興会特別研究員 仲宗根 卓

4 サイバー活動の国際法上の評価—jus ad bellum の観点から

防衛研究所主任研究官 河野 桂子

以上